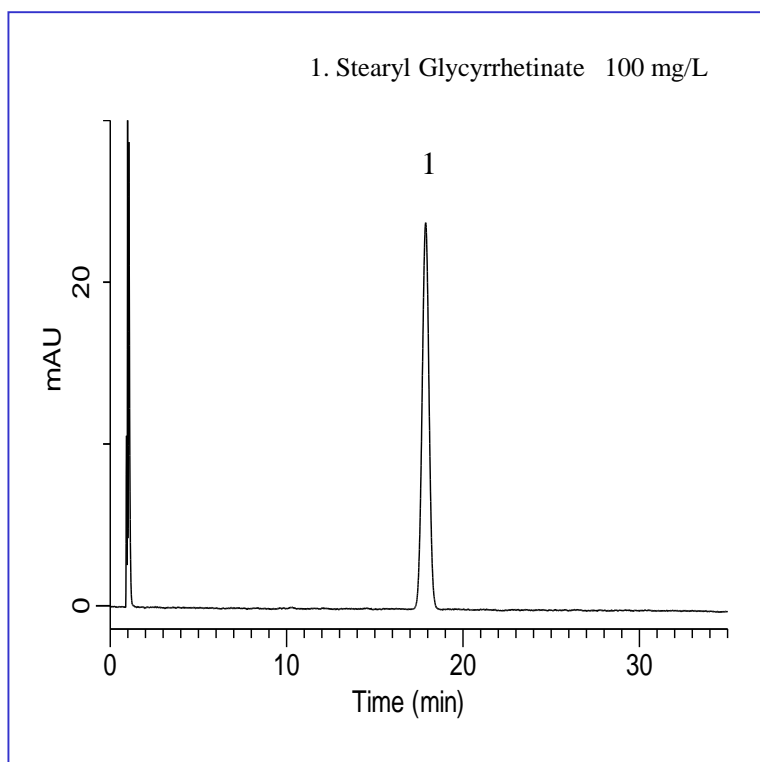


グリチルレチン酸ステアリルはカンゾウ (*Glycyrrhiza Glabra*) の根茎から抽出して得られる甘味成分であるグリチルレチン酸を加水分解したグリチルレチン酸に、ステアリルアルコールをエステル結合したグリチルレチン酸誘導体です。高い抗炎症作用を持つグリチルレチン酸にステアリルアルコールをエステル結合することで油溶性が付加されたため、化粧品や医薬部外品の分野で汎用されています。

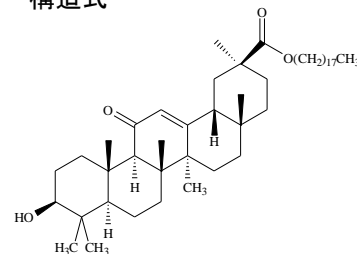
グリチルレチン酸ステアリルは高分子量かつ高疎水性のため、今回は高速分析に適したC8カラムを使用し分析を行いました。また、前処理は超音波抽出・フィルターろ過のみの比較的簡便な処理で分析できましたのでご報告致します。

(S.Miura)

## 標準溶液の分析例

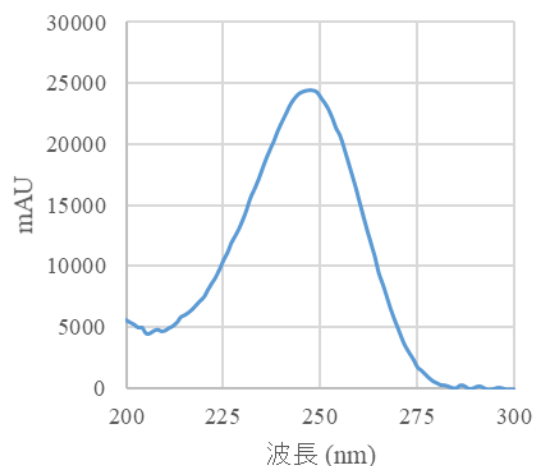


### 構造式

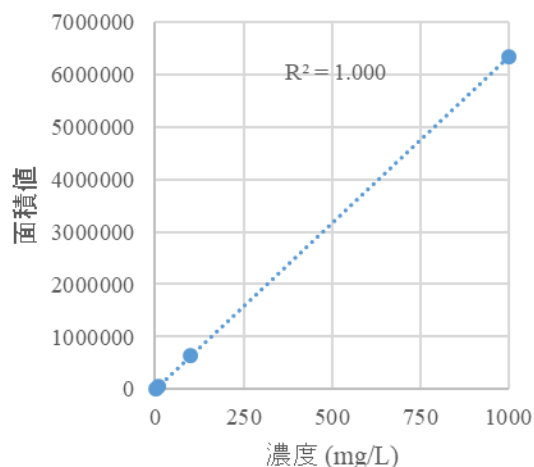


### グリチルレチン酸ステアリル

Structures are created using Chemistry 4-D Draw which is provided by ChemInnovation Software, Inc.



### UV吸収スペクトル



### 検量線

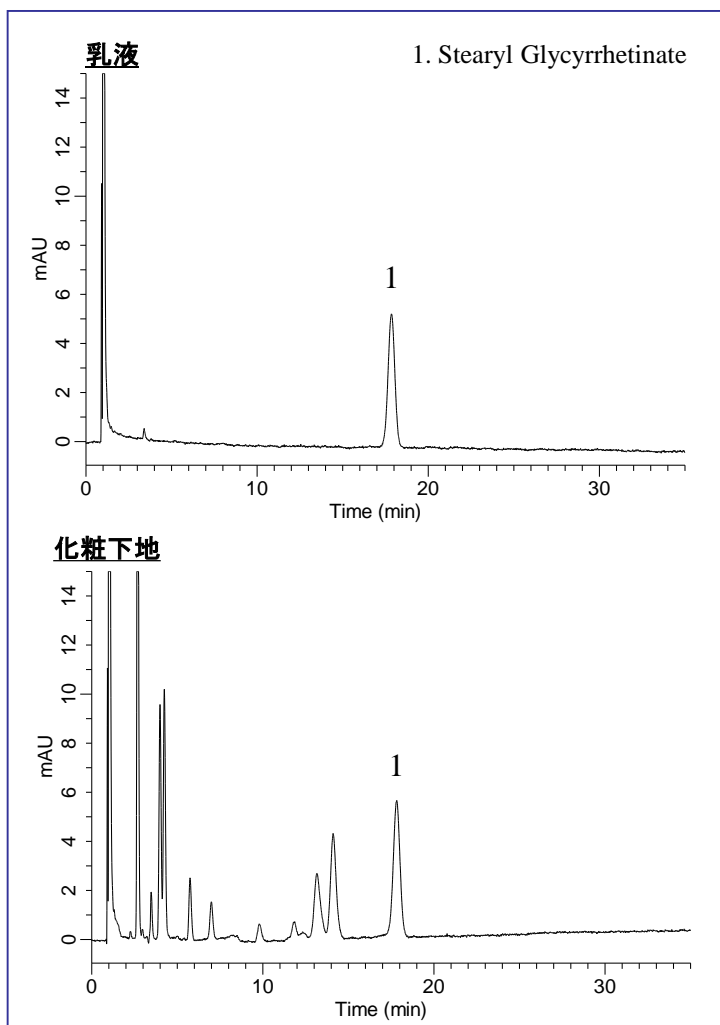
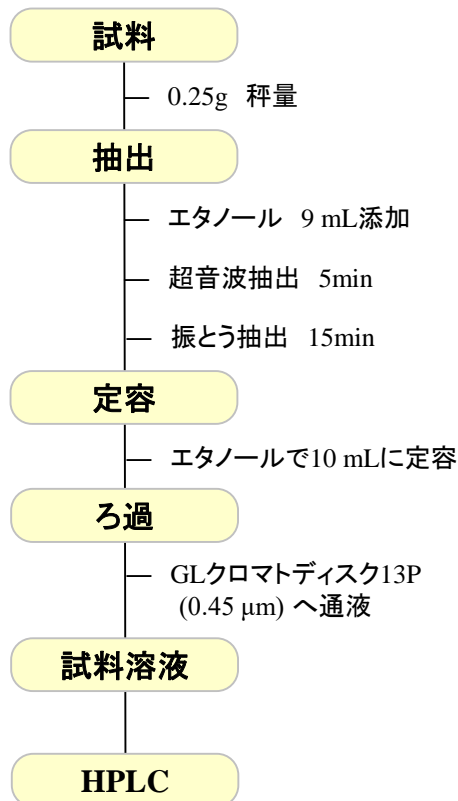
## Conditions

System	: HITACHI Chromaster
Column	: InertSustainSwift C8 (3 $\mu$ m, 100 x 3.0 mm I.D.)
Column Cat. No.	: 5020-88437
Eluent	: A) CH <sub>3</sub> CN B) H <sub>2</sub> O A/B = 85/15, v/v
Flow Rate	: 0.6 mL/min
Col. Temp.	: 40 °C
Detection	: UV 250 nm (5430 Diode Array Detector)
Injection Vol.	: 5 $\mu$ L
Sample	: Standard

## グリチルレチン酸ステアリルの分析例

市販の化粧品類(乳液、化粧下地)を希釈後、振とう及びろ過を行い、試料溶液としました。

### 前処理

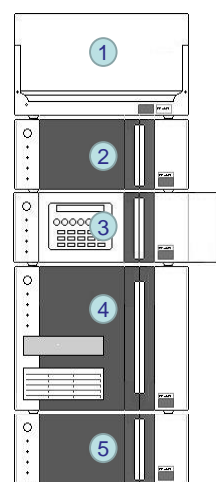


### 使用製品

- 分析カラム
  - InertSustainSwift C8 3 μm, 100 x 3.0 mm I.D. Cat.No. 5020-88437
- バイアル関連製品
  - スクリューバイアル 1.5 mL 100本 Cat.No.1030-51022
  - セプトム付スクリューキャップ PTFE赤/シリコン白 厚さ1.0 mm Cat.No.1030-51222
- シリンジフィルター
  - GLクロマトディスク 13P Cat.No. 5040-28541
  - プラスチックディスポーザブルシリンジ 10 mL ルアーロック型 Cat. No. 1030-55110

- HPLC装置
  - 日立HPLCシステム Chromaster

No.	品名	型番
1	オーガナイザー	
2	検出器	5430
3	カラムオープン	5310
4	オートサンプラー	5280
5	ポンプ	5160



**ジエールサイエンス株式会社**

〒163-1130 東京都新宿区西新宿 6-22-1 新宿スクエアタワー 30F  
TEL.03-5323-6611 FAX.03-5323-6622

※各試験法は、変更される場合がありますので、分析の前に確認されることをお薦めします。

データに起因し、直接的または間接的に生じたいかなる損害に対しましては、当社が責任をおうものではありません。また、記載事項につきましては、予告無しに改訂する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

カスタマーサポートセンターでは、ノウハウのご提供と分析に関するフォローを行なっております。お困りの際には、カスタマーサポートセンターまでお気軽にお問い合わせください。

カスタマーサポートセンター (土・日・祝除く 9:00-17:00)

☎ 04-2934-1100 ✉ info@glsc.co.jp



【アプリケーションの検索はこちら】

[https://www.glsc.co.jp/technique/app/app\\_search.html](https://www.glsc.co.jp/technique/app/app_search.html)